

IV ちいきづくり分野

柱1 安心・安全な地域づくりの推進【防災・交通安全・地域防犯】

災害や犯罪への不安が少なく、市民が安心・安全に暮らしている

柱2 支え合う地域社会の推進【地域福祉】

地域での助け合いや支え合いにより、誰もが生きがいを持ち、住み慣れた地域で安心して暮らしている

柱3 介護保険制度の健全な運営【介護保険】

介護保険制度が健全に運営され、高齢者が必要な介護サービスを受けて安心して暮らしている

柱4 障害者が生き生きと暮らせる支援の推進【障害者福祉】

障害者が必要な福祉サービスを受け、自立し生きがいをもって、安心して暮らしている

柱5 地域で支え合う生活支援のための体制の確保【生活支援】

生活困窮者などが必要な支援を受けることができ、自立した生活を送れている

柱6 保険年金制度の健全な運営【保険年金】

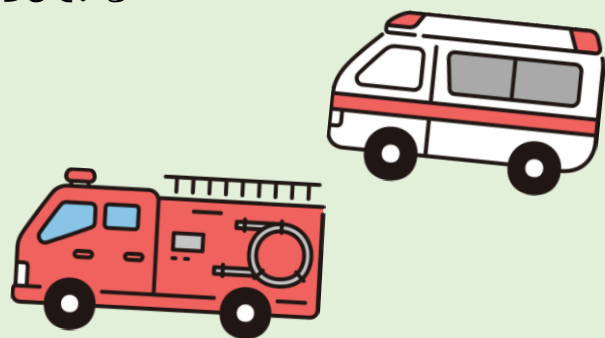
保険年金制度が健全に運営され、もしもの場合の生活の不安が軽減され、安心して暮らしている

柱7 誰もが活躍できる健康な生活の確保【健康づくり】

自ら健康づくりに取り組み、健康に暮らしている

柱8 市民の安心を守る消防・救急体制の充実【消防・救急】

消防・救急体制が整い、市民が安心・安全に暮らしている



IV ちいき 柱1 安心・安全な地域づくりの推進 — 防災・交通安全・地域防犯 —



現状・課題と今後の方向性

【社会全体の現状・課題】

わが国は世界有数の地震大国といわれ、平成23年3月の東日本大震災や平成28年4月の熊本地震、令和6年1月の能登半島地震では、多くの方が被災しました。また、近年では気候変動の影響による台風の激化や集中豪雨の多発により、いずれの地域においても災害に遭遇する可能性があります。

交通事故や刑法犯の件数は年々減少傾向にあるものの、犯罪の手口が巧妙化しているなど、依然対策が必要な状況です。

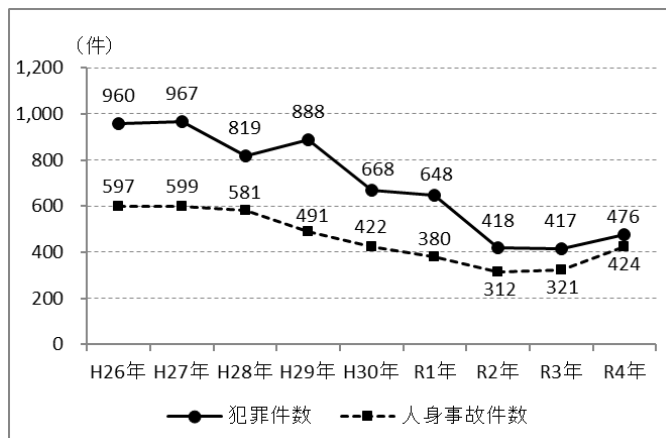
【江南市の現状・課題】

江南市を含む東海地域においては、直近数十年の間に高確率で発生が予想される南海トラフ地震[※]への対策が急務となる中、地域コミュニティの弱体化による地域防災力の低下が課題となっています。また、人身事故や犯罪の発生件数は減少傾向にありますが、凶悪犯罪や特殊詐欺などの被害が深刻化しているため、それらへの未然の対策が課題となっています。

【今後の方向性】

今後は、自らの命は自ら守ることを念頭に市民と行政が協力して地域の防災力を高め、危機的な状況からも速やかに立ち直ることができるレジリエンス[※]の強化に努めるとともに、市民が交通事故、凶悪犯罪や特殊詐欺などの犯罪に巻き込まれることがないように対策することにより、地域の安心・安全を確保していくことが求められています。

■ 犯罪・事故発生状況の推移



資料：江南警察署・江南防犯協会連合会

目標年度（R9年度）のすがた

「自分たちの地域は自分たちで守る」という自助・共助の意識が定着し、地域全体で支え合いの仕組みが構築され、市民が協力して災害への備えや交通安全対策、防犯活動を行っている。

その結果、災害に対する不安も軽減され、事故や犯罪が少なくなり、市民が安心・安全に暮らしている。

行政の使命

地域の防災・防犯力を向上させるための意識啓発、組織や人材の育成、活動支援を行う。また、交通事故を減らすため、計画的な交通安全施設[※]の整備を行う。

成果目標

全体目標：災害や犯罪への不安が少なく、市民が安心・安全に暮らしている

| 指標名 | 単位 | 基準値 | 計画値 | | 説明 | |
|-----------------------|----|---------------|-----|------|------|---------------|
| | | | R5 | R9 | | |
| 災害や犯罪への不安が少なく感じる市民の割合 | % | 50.0 (H29) | 目標値 | 65.0 | 70.0 | 市民満足度調査により測定。 |
| | | | 実績値 | 37.2 | — | |

個別目標①：災害への備えが行われている

| 指標名 | 単位 | 基準値 | 計画値 | | 説明 | |
|--|----|---------------|-----|--------------|-------|--|
| | | | R5 | R9 | | |
| 非常持ち出し品 [※] や食糧などを準備している市民の割合 | % | 27.2 (H28) | 目標値 | 45.0 | 50.0 | 各家庭の防災意識の状況を測定するもの。 市民満足度調査により測定。 |
| | | | 実績値 | 32.2 | — | |
| 防災用資機材 [※] 助成の申請率 | % | 79.7 (H28) | 目標値 | 92.6 | 100.0 | 自主防災会の防災意識を測定するもの。 申請した自主防災会数/全自主防災会数 |
| | | | 実績値 | 77.0 (R4) | — | |
| 危機管理体制が整い、安心して暮らしていると感じる市民の割合 | % | 23.0 (H29) | 目標値 | 40.0 | 50.0 | 市民満足度調査により測定。 |
| | | | 実績値 | 26.7 | — | |

●行政の取り組み

| 基本施策 | 施策内容 | 主な事務事業 |
|----------------------|---|---|
| 災害対策活動の充実・強化、有事対策の確立 | 災害に強い地域づくりを推進するため、「自らの命は自らで守る。」という災害対策の基本を啓発するとともに、総合防災訓練の実施や地域の自主防災訓練を支援することにより、地域防災力の向上を図る。また、武力攻撃事態などにおいて市民を保護するため、江南市国民保護計画に基づく措置を総合的に推進する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織運営事業 ・災害時対応事業 ・総合防災訓練事業 ・有事関連事業 |

個別目標②：交通安全施策と防犯施策の推進により、安心・安全な地域づくりができています

| 指標名 | 単位 | 基準値 | 計画値 | | 説明 | |
|--------------------|----|---------------|-----|--------------|-------|---|
| | | | R5 | R9 | | |
| 交通事故発生件数 (人身事故) | 件 | 581 (H28) | 目標値 | 529 | 500 | 交通安全対策の効果を測定するもの。 |
| | | | 実績値 | 424 (R4) | — | |
| 犯罪発生件数 | 件 | 819 (H28) | 目標値 | 743 | 700 | 防犯対策の効果を測定するもの。 |
| | | | 実績値 | 476 (R4) | — | |
| 地域安全パトロール実施率 | % | 89.9 (H28) | 目標値 | 96.3 | 100.0 | 地域の防犯体制がどの程度整っているかを測定するもの。 地域安全パトロール実施区・町数/全区・町数 |
| | | | 実績値 | 88.4 (R4) | — | |

●行政の取り組み

| 基本施策 | 施策内容 | 主な事務事業 |
|---------------|---|---|
| 交通安全及び防犯施策の推進 | 安心・安全な地域づくりを実現するため、交通安全の意識啓発、道路照明灯や反射鏡など交通安全施設 [※] の設置及び管理、防犯カメラの設置費補助など犯罪を減らす環境づくりを警察などの関係機関と協力し実施する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・交通安全対策事業 ・交通安全施設設置整備事業 ・防犯対策事業 |

市民協働のモデル

市民協働事業

●自主防災組織運営事業

・各小学校区で自主防災会が主催する自主防災会合同訓練をサポートするとともに、購入した防災用資機材に対して助成を行い、防災力が向上する地域づくりを行っています。

●交通安全対策事業

・市民と行政が、交通事故危険箇所を発見・情報を共有し、交通安全の意識啓発や交通安全施設の充実を図り、交通事故を減らす地域づくりを行っています。

●防犯対策事業

・市内の区別に組織する地域防犯パトロール隊と行政が、犯罪発生の危険箇所の情報を共有し、警察などとの関係機関と連携を密にして、犯罪を減らす地域づくりを行っています。

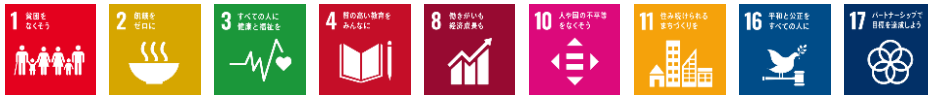
関連する個別計画

- 江南市地域強靱化計画（R3～R7）
- 江南市地域防災計画
- 江南市国民保護計画
- 江南市災害時受援計画
- 江南市業務継続計画



総合防災訓練

IV ちいき 柱2 支え合う地域社会の推進 — 地域福祉 —



現状・課題と今後の方向性

【社会全体の現状・課題】

社会が多様化する中で、従来の地域・家庭などの人々が支え合う基盤の弱体化が進んでおり、社会的なニーズもよりいっそう複合化・複雑化しています。そのため、対象者別・機能別に整備された福祉制度では、十分な支援を提供できないケースが発生しています。このような課題を受け、国は平成29年に「『地域共生社会[※]』の実現に向けて（当面の改革工程）」を策定し、従来の縦割りを前提とした支援から、包括的な支援の提供をめざすとともに、地域の多様な主体がともに支え合い、誰もが安心感と生きがいをもって暮らせる地域共生社会の実現をめざしています。

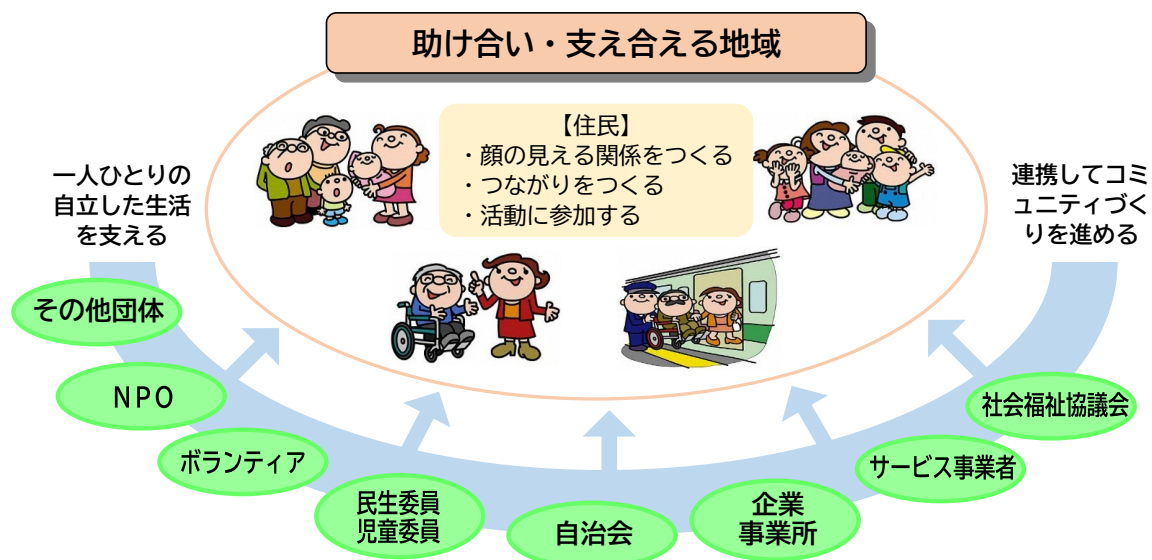
【江南市の現状・課題】

江南市においても、人口減少・少子高齢化などの影響を受けて、地域コミュニティの弱体化が危惧されています。そのような中でも、介護を必要とする高齢者や障害者などを含め、すべての人々が住み慣れた地域において、生涯にわたり生きがいをもって暮らすことができるような環境の整備が、よりいっそう重要となっています。

【今後の方向性】

今後は、高齢者や障害者などがいつまでも地域の中で安心して暮らすことができるよう、従来の福祉サービスの提供に加え、見守り体制や相談体制の強化に取り組む必要があります。また、今後増加が見込まれる介護を必要とする高齢者が希望をもって暮らせるよう、地域全体での支援環境を構築する必要があります。

そのような地域共生社会の実現に当たっては、行政だけでなく、地域関係のボランティア[※]団体、NPO[※]などとの連携を図り、重層的支援体制[※]を構築することにより地域で支え合う仕組みの醸成が求められています。



目標年度（R9年度）のすがた

高齢者や障害者など誰もが住み慣れた地域で安全・安心な生活ができている。
誰もが役割と生きがいをもつことができ、地域の多様な主体のつながりにより、地域で支え合う環境ができている。

行政の使命

高齢者や障害者などが生き生きとした生活を送ることができるように、地域のつながり・支え合い活動などの支援をする。
既存の制度・機関のみでは対応が困難な課題を地域全体で解決できる仕組みを作る。福祉活動を支援し、活動の担い手となる人材を育成する。

成果目標

全体目標：地域での助け合いや支え合いにより、誰もが生きがいを持ち、住み慣れた地域で安心して暮らしている

| 指標名 | 単位 | 基準値 | 計画値 | | 説明 | |
|--------------------------------------|----|--------------|-----|----|------|---------------|
| | | | R5 | R9 | | |
| 誰もが必要な支援を受けられる体制・環境が整備されていると感じる市民の割合 | % | 20.2 (R5) | 目標値 | — | 30.0 | 市民満足度調査により測定。 |
| | | | 実績値 | — | — | |

個別目標①：高齢者や障害者などが住み慣れた家庭や地域で安心・安全に生活している

| 指標名 | 単位 | 基準値 | 計画値 | | 説明 | |
|-------------------|----|----------------|-----|---------------|-------|---|
| | | | R5 | R9 | | |
| 基幹相談支援センター※への相談件数 | 件 | 1,409 (H28) | 目標値 | 1,500 | 1,600 | 日常生活を営むのに支障がある障害者からの相談件数を測定するもの。 |
| | | | 実績値 | 1,376 (R4) | — | |
| 成年後見制度※利用支援件数 | 件 | 1 (H28) | 目標値 | 10 | 6 | 高齢や障害などにより判断能力が十分ではない方が、地域で安心して生活できるよう成年後見制度の利用支援を行った件数を測定するもの。 |
| | | | 実績値 | 4 (R4) | — | |
| 社会参加している高齢者の割合 | % | 34.1 (H28) | 目標値 | 36.0 | 36.0 | 江南市介護保険及び高齢者福祉実態調査により測定。 |
| | | | 実績値 | 36.0 (R4) | — | |

●行政の取り組み

| 基本施策 | 施策内容 | 主な事務事業 |
|---------|--|---|
| 地域福祉の推進 | 高齢者や障害者が地域の中で安心して暮らすことができるよう、各関係機関と連携して、円滑な福祉サービスの提供につなげる。 生活困窮者等への適切な相談支援体制を確立し、安定した生活を確保する。 | <ul style="list-style-type: none"> 日常生活支援事業 要支援高齢者等援助事業 地域福祉活動推進事業 基幹相談事業 生活困窮者自立相談支援事業 地域支援事業 社会福祉法人等支援事業 老人保護措置事業 災害援護事業 |

個別目標②：社会福祉関係団体などが地域の福祉活動を積極的に行っている

| 指標名 | 単位 | 基準値 | 計画値 | | 説明 |
|---------------------------------|-----|--------------------|-----|-------------------|-----------|
| | | | R5 | R9 | |
| 社会福祉関係の団体数、参加人数 | 団体人 | 14 184 (H28) | 目標値 | 18 250 | 12 170 |
| | | | 実績値 | 12 164 (R4) | — |
| 民生委員 [※] が相談を受け、支援した件数 | 件 | 2,447 (H28) | 目標値 | 2,600 | 2,700 |
| | | | 実績値 | 2,507 (R4) | — |

●行政の取り組み

| 基本施策 | 施策内容 | 主な事務事業 |
|------------------|--|--|
| 社会福祉関係団体などとの連携推進 | 社会福祉関係団体や障害者団体に携わる人材を育成し、地域活動の場、活躍の機会づくりを提供する。 | <ul style="list-style-type: none"> 社会福祉関係団体育成事業 民生委員事業 |

市民協働のモデル

市民協働事業

●日常生活支援事業

・協力を得られた事業所と協定を締結し高齢者の見守りを行っています。

●高齢者生きがい促進事業

・老人クラブの活動を支援し、地域を基盤とする高齢者の自主的な活動を促進しています。

●基幹相談事業

・雇用・保健・福祉・教育などの関係機関と連携して、障害者に対する就業支援及び生活支援を実施する公益法人、社会福祉法人などを「障害者就業・生活支援センター」とし、当該センターと連携する取り組みを行っています。

●社会福祉関係団体育成事業

・社会福祉関係団体や障害者団体に携わる人材の担い手が不足している中で、各団体の果たす役割や重要性を積極的に発信し、認知や理解を深めています。

●民生委員事業

・様々な問題を抱えた地域住民に対して、民生委員が窓口となり、行政や公私の社会福祉関係者と協力、連携して地域社会の福祉課題の解決に取り組んでいます。

市民協働の推進に向けて

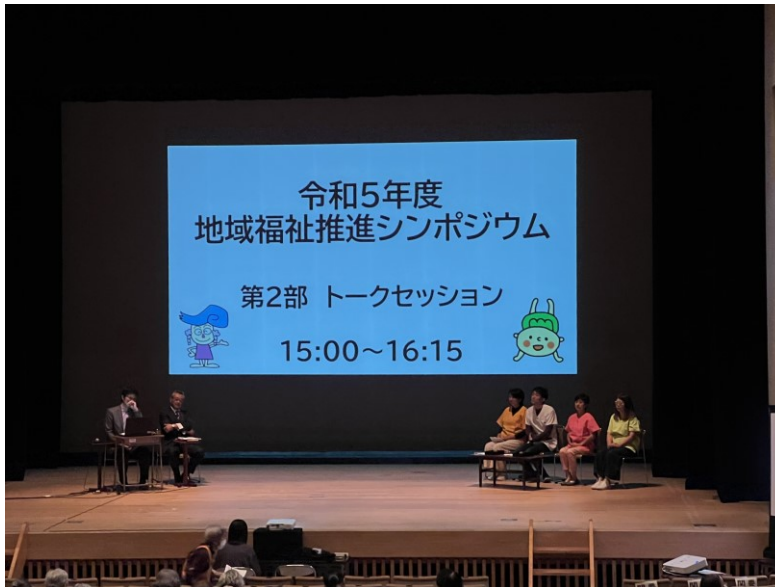
●地域の支え合いの推進

・それぞれの地域において高齢者や障害者などが安心して暮らせるよう、地域住民や公私の社会福祉関係者がお互いに協力して地域社会の福祉課題の解決に取り組むよう、地域福祉懇談会を開催するなど地域福祉計画の内容を推進していきます。

・福祉サービスのようなフォーマルなサービス提供以外に、インフォーマルなサービスを提供できるように地域福祉を推進していきます。

関連する個別計画

- 第2次江南市地域福祉計画（R6～R11）
- 第9期江南市介護保険事業計画及び高齢者福祉計画（R6～R8）
- 第3次江南市障害者計画（R30～R8）
- 第7期江南市障害福祉計画（R6～R8）



地域福祉推進シンポジウム



地域福祉懇談会

IV ちいき 柱3 介護保険制度の健全な運営 — 介護保険 —



現状・課題と今後の方向性

【社会全体の現状・課題】

わが国では高齢化が急速に進展しており、令和2年の国勢調査の結果では高齢化率^{*}が28.7%に達しました。後期計画期間中には、いわゆる団塊の世代がすべて75歳以上となる令和7年（2025年）を迎え、介護人材の不足や社会保障費^{*}の増大などが問題となっています。また、令和22年（2040年）には、団塊ジュニア世代が65歳以上となり、現役世代が急減するため、中長期的な対策も求められています。

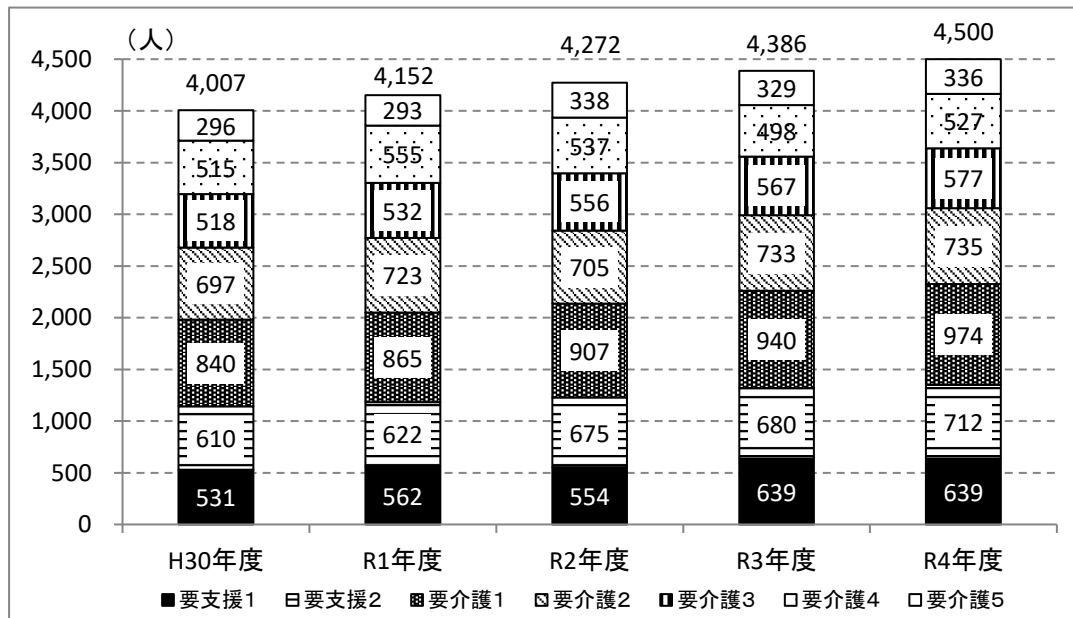
【江南市の現状・課題】

令和2年の国勢調査結果によると、江南市における65歳以上の高齢者は27,911人で、高齢化率28.4%となっており、約3.5人に1人が高齢者となります。団塊の世代がすべて75歳以上となる令和7年（2025年）を迎えるに当たり、介護を必要とする高齢者や認知症を患う高齢者が増加することが予想されます。このような中、継続的に質の高い介護サービスを提供し続けることが課題となっています。

【今後の方向性】

今後は、令和7年（2025年）には団塊の世代全員が75歳以上の後期高齢者となり、令和22年（2040年）には団塊ジュニア世代が65歳以上となるため、地域包括ケアシステム^{*}をいっそう推進するとともに、必要な介護ニーズを捉えつつ、介護サービス事業者と連携を図り、中長期的な視点で介護提供体制の確保を推進することが求められています。

■ 要介護者数の推移



資料：高齢者生きがい課

目標年度（R9年度）のすがた

介護が必要な高齢者は、地域の施設や自宅で、適切な医療・介護サービスを受けるとともに、地域での支え合い活動を通して、地域住民との交流をもっている。また、地域住民自身が主体となって、介護予防活動や健康寿命^{*}の延伸に取り組むことができている。

その結果、高齢者が住み慣れた地域で生きがいをもって生活し、介護が必要になっても、安心した生活ができている。

行政の使命

介護予防の取り組みを事業所などと協働しながら推進する。

介護が必要な方には、個々に適切な福祉サービス・介護サービスを提供する。

成果目標

全体目標：介護保険制度が健全に運営され、高齢者が必要な介護サービスを受けて安心して暮らしている

| 指 標 名 | 単位 | 基準値 | 計画値 | | 説 明 | |
|------------------------------------|----|---------------|-----|------|------|---------------|
| | | | R 5 | R 9 | | |
| 高齢者の在宅生活を支える介護サービスが充実していると感じる市民の割合 | % | 16.6 (H29) | 目標値 | 23.0 | 23.0 | 市民満足度調査により測定。 |
| | | | 実績値 | 15.0 | — | |

個別目標①：高齢者が介護予防に取り組み、介護が必要になっても地域で安心して暮らしている

| 指 標 名 | 単位 | 基準値 | 計画値 | | 説 明 | |
|-----------------------------|----|---------------|-----|--------------|------|---|
| | | | R 5 | R 9 | | |
| 高齢者人口に占める健康を保って暮らしている高齢者の割合 | % | 86.6 (H28) | 目標値 | 86.6 | 84.4 | 健康な高齢者の割合を測定するもの。 介護認定を受けていない65歳以上人口/65歳以上人口 |
| | | | 実績値 | 84.4 (R4) | — | |
| 要介護認定者の居宅サービス利用者の割合 | % | 66.8 (R4) | 目標値 | — | 66.8 | 在宅で暮らしている高齢者の割合を測定するもの。 居宅サービス利用者数/要介護認定者数 |
| | | | 実績値 | — | — | |

●行政の取り組み

| 基本施策 | 施策内容 | 主な事務事業 |
|-------------------------|---|---|
| 介護保険サービスの提供、介護保険事業の適正運営 | 地域包括ケアシステムの構築を推進し、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できる体制を整える。 また、介護が必要な高齢者が、地域の施設や自宅で、適切な介護サービスを受けられるようにするため、介護認定及び介護保険事業の運営を適正に行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域支援事業 ・介護認定事業 ・介護保険事業者指定及び指導事業 ・介護保険給付事業 |

市民協働のモデル

市民協働事業

●地域支援事業

- ・介護予防講座の開催や認知症サポーターの養成などを行っています。

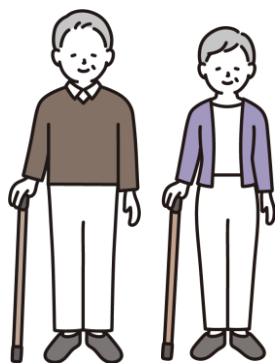
市民協働の推進に向けて

●介護予防の推進

- ・高齢者が要介護状態等となることを予防するため、地域の支え合いにより高齢者を支援するとともに、住民全体の介護予防活動の育成・支援を行います。

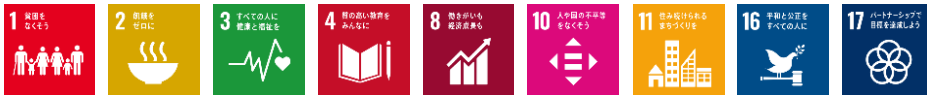
関連する個別計画

- 第9期江南市介護保険事業計画及び高齢者福祉計画（R6～R8）



IV ちいき
柱 4

障害者が生き生きと暮らせる支援の推進
— 障害者福祉 —



現状・課題と今後の方向性

【社会全体の現状・課題】

令和4年度に改正された障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（令和6年4月施行）では、障害者の地域生活や就労の支援の強化などにより、障害者の希望する生活を実現するため、障害者の地域生活の支援体制の充実や障害者の多様な就労ニーズに対する支援などを定め、障害者が安心して暮らし続けることができる社会の実現をめざしています。

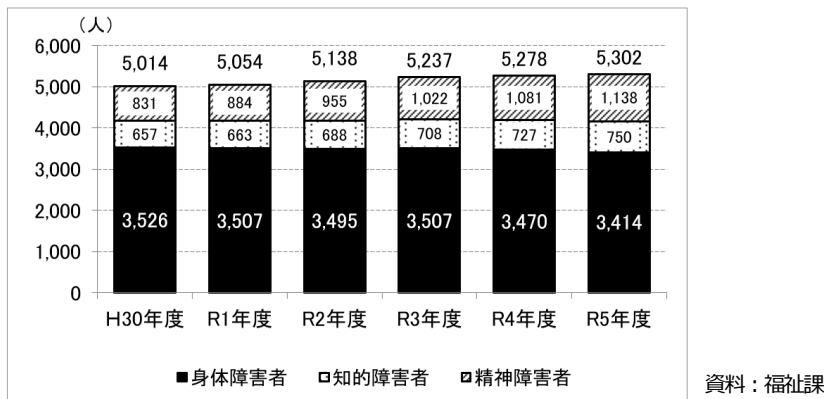
【江南市の現状・課題】

江南市における各障害者手帳の所持者数の推移を見ると、身体障害者手帳の所持者数は減少傾向にあります。療育手帳及び、精神障害者保健福祉手帳の所持者数はともに増加傾向にあり、全体としては今後も江南市の障害者は増加していくものと予測されます。障害者の就労に関しては、令和4年時点の障害者雇用率が国2.25%、愛知県2.19%であるのに対して、江南市は2.02%となっており、低い水準にとどまっていることが課題となっています。

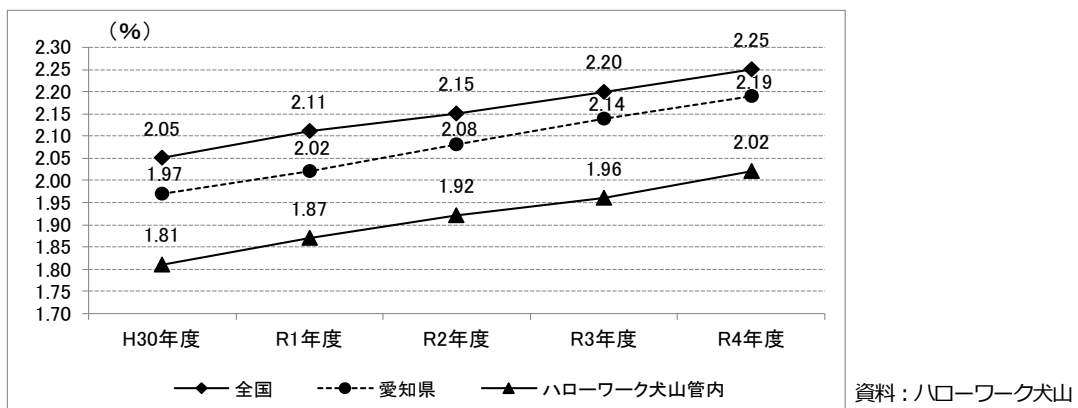
【今後の方向性】

今後は、障害者が必要な日常生活の支援を受け、生き生きと暮らせるよう、障害福祉サービス[※]の拡充が必要となっています。また、就労の面では、ハローワークと連携して、雇用の場の確保に努めるとともに、障害福祉サービスを通じて、障害者の技能訓練を進め、社会で就労の場が得られるよう促していく必要があります。

■障害者数の推移



■障害者雇用率の推移



目標年度（R9年度）のすがた

障害者が能力に応じた就労などを行い、個々のニーズに基づいた必要な支援サービスを受けて、住み慣れた地域で生活している。
その結果、障害者の自立と社会参加が進み、地域で生きがいをもって安心して暮らしている。

行政の使命

障害者が能力に応じた就労などを行い、個々のニーズに基づいた必要な支援サービスを受けることができるよう、多様なニーズに対応する相談支援や障害福祉サービス^{*}の充実を図り、障害者の自立と社会参加を支援する。

成果目標

全体目標：障害者が必要な福祉サービスを受け、自立し生きがいをもって、安心して暮らしている

| 指 標 名 | 単位 | 基準値 | 計画値 | | 説 明 | |
|---------------------------------|----|---------------|-----|------|------|---------------|
| | | | R 5 | R 9 | | |
| 障害のある人が地域で生き生きと生活していると感じる市民の割合 | % | 21.3 (H28) | 目標値 | 40.0 | 50.0 | 市民満足度調査により測定。 |
| | | | 実績値 | 19.5 | — | |
| 障害のある人にとって相談支援体制が整っていると感じる市民の割合 | % | 18.4 (H28) | 目標値 | 40.0 | 50.0 | 市民満足度調査により測定。 |
| | | | 実績値 | 19.2 | — | |

個別目標①：障害者が日常生活の支援を受け、能力にあった就労・社会参加をし、生活しやすい社会環境が整備されている

| 指 標 名 | 単位 | 基準値 | 計画値 | | 説 明 | |
|---|----|--------------|-----|-------------|-----|--|
| | | | R 5 | R 9 | | |
| 就労継続支援 [*] 及び就労移行支援サービス [*] の利用人数 | 人 | 182 (H28) | 目標値 | 200 | 396 | 障害者の社会参加を測定するもの。 |
| | | | 実績値 | 287 (R4) | — | |
| 共同生活援助（グループホーム） [*] の利用人数 | 人 | 44 (H28) | 目標値 | 60 | 134 | 自立や社会参加、地域生活への移行へ向けた障害者への支援状況を測定するもの。 |
| | | | 実績値 | 89 (R4) | — | |
| 通所支援サービス（児童発達支援など）の利用人数 | 人 | 213 (H28) | 目標値 | 220 | 723 | 障害のある児童が、日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練などの必要な療育を受けているかを測定するもの。 |
| | | | 実績値 | 445 (R4) | — | |

●行政の取り組み

| 基本施策 | 施策内容 | 主な事務事業 |
|--------------------|----------------------------|-----------|
| 障害者の日常生活及び社会生活への支援 | 障害福祉サービスや就労及び社会参加の機会を提供する。 | ・自立支援給付事業 |

市民協働のモデル

市民協働事業

●自立支援給付事業

・職業生活における自立を図るために継続的な支援を必要とする障害者に対し、障害福祉サービスを通じて、基礎訓練の実施をはじめとする就業に伴う生活に関する指導・助言などの取り組みを推進します。

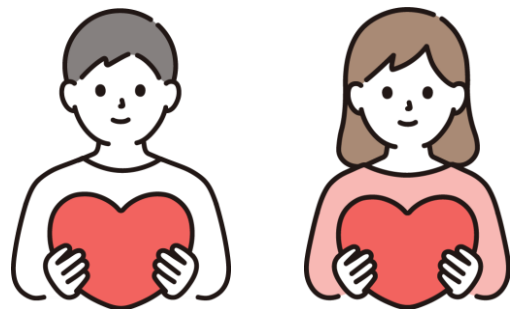
市民協働事業

●障害者福祉の推進

・それぞれの地域において障害児への理解を深め、障害児への自立支援について地域住民や公私の社会福祉関係者がお互いに協力して課題の解決に取り組むことができるよう、障害者計画の内容を推進していきます。

関連する個別計画

- 第3次江南市障害者計画（H30～R8）
- 第7期江南市障害福祉計画（R6～R8）
- 第2次江南市地域福祉計画（R6～R11）



IV ちいき 柱5 地域で支え合う生活支援のための体制の確保 — 生活支援 —



現状・課題と今後の方向性

【社会全体の現状・課題】

前期基本計画期間中には新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、緊急事態宣言が出されたことなどにより、社会・経済全体が停滞することとなりました。その結果、感染が拡大した令和2年には、有効求人倍率^{*}、完全失業率ともに悪化することとなり、生活に困窮する者が急激に増加しました。生活保護の申請率も増加傾向となっており、新型コロナウイルス感染症の拡大が長期化する中、物価高騰など社会経済の状況やコロナ禍で行われてきた各種施策の縮小などにより、国民生活において様々な局面で影響が生じています。

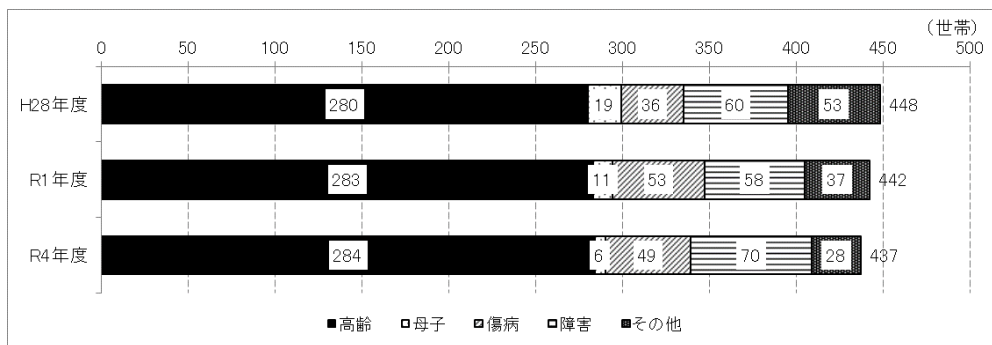
【江南市の現状・課題】

江南市においても、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、令和3年度には、生活保護世帯が前年比0.5%増になるなど、その影響を受けることとなりました。また、中長期的に見ても、生活保護世帯全体に対する「高齢者世帯」の割合は大きなものとなっています。一方、生活保護世帯を取り巻く環境は複雑化、多様化しており、生活保護世帯を含む生活困窮者の世帯全般を支える地域での体制構築が課題となっています。

【今後の方向性】

今後は、就労可能な方が不安なく、就労することができるよう、就労に関する相談や求人開拓、ハローワークへの同行など、就労に至るまでの過程を計画的に支援するとともに、高齢者に対しては、日常生活において自立した生活を送り、社会的孤立を防止する支援が求められています。

■世帯類型別保護世帯の推移



目標年度（R9年度）のすがた

生活保護受給者や生活困窮者などに対する自立への支援が行われている。また、地域の各支援団体と行政の間でネットワーク化が進み、機能的に協働するシステムが整備され、子育てや介護などに対する支援が地域全体で効果的に実施されている。
その結果、生活困窮者、子どもたち、子育て中の市民や高齢者などの誰もが地域で安心して暮らしている。

行政の使命

各関係機関との連携を図り、生活保護受給者や生活困窮者などの自立を支援する。

成果目標

全体目標：生活困窮者などが必要な支援を受けることができ、自立した生活を送れている

| 指標名 | 単位 | 基準値 | 計画値 | R | | 説明 |
|--------------------------------|----|---------------|-----|------|------|---------------|
| | | | | 5 | 9 | |
| 必要なときに地域で支え合う体制が整っていると感じる市民の割合 | % | 27.5 (H29) | 目標値 | 30.0 | 35.0 | 市民満足度調査により測定。 |
| | | | 実績値 | 26.1 | — | |

個別目標①：生活困窮者などが支援を受け、自立している

| 指標名 | 単位 | 基準値 | 計画値 | R | | 説明 |
|---------------------|----|-------------|-----|------------|----|---------------------|
| | | | | 5 | 9 | |
| 保護の廃止世帯数 (死亡を除く) | 件 | 28 (H28) | 目標値 | 30 | 33 | 生活保護世帯が自立した件数を測るもの。 |
| | | | 実績値 | 26 (R4) | — | |

●行政の取り組み

| 基本施策 | 施策内容 | 主な事務事業 |
|-------------|---|--|
| 生活困窮者への自立支援 | 生活に困窮する方に対し、困窮の程度に応じて、最低限度の生活を保障するとともに、自立助長を促す。 | <ul style="list-style-type: none"> 生活保護事業 被保護者就労支援事業 |

市民協働のモデル

市民協働事業

●生活保護事業

- 行政のみでの対応や解決が困難な問題に対して、民生委員※や病院、地域包括支援センター※などの関係機関がお互いに補完し合い、地域全体で共有し、解決できるよう取り組んでいます。

IV ちいき 柱6 保険年金制度の健全な運営 — 保険年金 —



現状・課題と今後の方向性

【社会全体の現状・課題】

医療技術の進歩などにより、高齢期が長期化する中、老後の生活に対する不安、経済的不安、健康への不安などを抱える人が増えています。また、高齢化の進展や医療の高度化により、社会保障費※が増大する中、保険年金制度の中長期的な維持が課題となっています。

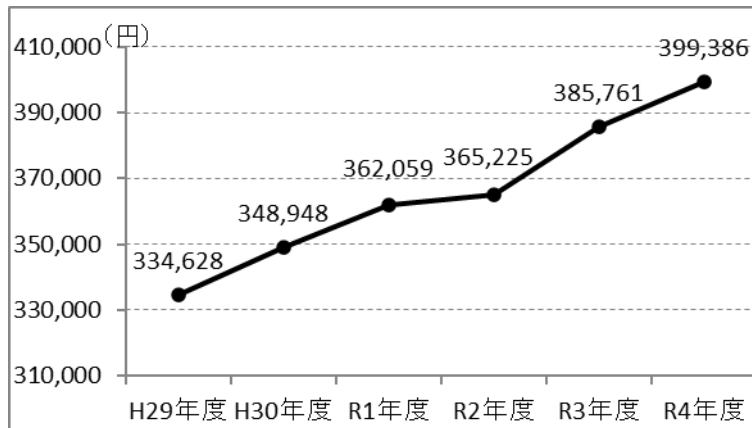
【江南市の現状・課題】

江南市においても、国民健康保険被保険者の少子高齢化の進展及び後期高齢者医療※の被保険者数の増加などにより医療費が増えるなど、社会保障費は増加傾向にあります。一方、国民健康保険被保険者を対象とする特定健康診査及び特定保健指導の受診率は低いことから、市民の健康意識を高め、受診率の向上を図るとともに、生活習慣の改善など疾病予防を促すことが課題となっています。

【今後の方向性】

今後は、自発的な健康管理を促すことによる社会保障費の抑制を図り、生涯を通じて、最低限の生活が保障され、安定した生活を送れるよう、保険年金制度の健全かつ持続的な運営が求められています。

■国民健康保険被保険者1人当たり年間医療費費用額



資料：保険年金課

目標年度（R9年度）のすがた

市民自らの健康意識が定着し、保険年金制度が健全に運営されている。
その結果、もしもの場合に最低限の生活が保障されることにより、生活の不安が軽減され、安心して暮らしている。

行政の使命

健康への自覚を促すため、医療保険の加入者に対し、健康診査、保健指導を推進し、国民健康保険制度の健全な運営を図る。また、国民年金事務を円滑に進める。

成果目標

全体目標：保険年金制度が健全に運営され、もしもの場合の生活の不安が軽減され、安心して暮らしている

| 指標名 | 単位 | 基準値 | 計画値 | R | | 説明 |
|------------------------------|----|---------------|-----|------|------|---------------|
| | | | | 5 | 9 | |
| 保険年金制度により安心して暮らしていると感じる市民の割合 | % | 58.8 (H28) | 目標値 | 65.0 | 70.0 | 市民満足度調査により測定。 |
| | | | 実績値 | 55.2 | — | |

個別目標①：被保険者の健康意識が向上し、医療保険制度の健全運営により市民が安心して暮らしている

| 指標名 | 単位 | 基準値 | 計画値 | R | | 説明 |
|--------------|----|---------------|-----|--------------|------|--|
| | | | | 5 | 9 | |
| 特定健康診査受診率 | % | 44.8 (H28) | 目標値 | 60.0 | 56.0 | 特定健診受診者数/40歳以上国保被保険者数 |
| | | | 実績値 | 45.1 (R4) | — | |
| 後発医薬品の使用割合 | % | 70.6 (H28) | 目標値 | 80.0 | 85.5 | 国保被保険者の処方医薬品数量のうち後発品数量/(代替可能先発品数量+後発品数量) |
| | | | 実績値 | 82.8 (R4) | — | |
| 後期高齢者健康診査受診率 | % | 51.0 (H28) | 目標値 | → | → | 健康診査受診者数/後期高齢者医療被保険者数 |
| | | | 実績値 | 48.3 (R4) | — | |

●行政の取り組み

| 基本施策 | 施策内容 | 主な事務事業 |
|-----------|---|--|
| 医療保険の健全運営 | 被保険者が安心して健康な生活を送ることができるよう、健康診査、保健指導、福祉医療費助成などを実施するとともに、医療保険制度の健全な運営を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・保険推進事業 ・保険給付事業 ・特定健康診査・特定保健指導事業 ・福祉医療費助成事業 ・後期高齢者医療支援事業 |

個別目標②：国民年金制度への理解が深まり、届出や保険料の納付が適正に行われている

| 指標名 | 単位 | 基準値 | 計画値 | R | | 説明 |
|------------|----|---------------|-----|--------------|---|--------------------|
| | | | | 5 | 9 | |
| 国民年金保険料納付率 | % | 71.8 (H28) | 目標値 | ↗ | ↗ | (収納月数+前納月数)/収納対象月数 |
| | | | 実績値 | 82.3 (R4) | — | |

●行政の取り組み

| 基本施策 | 施策内容 | 主な事務事業 |
|-------------|--|---|
| 国民年金制度の理解促進 | 国民年金制度加入対象者が安心して暮らすことができるよう、国民年金制度に関する広報、相談、届出、保険料などに関する事務を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・国民年金事業 |

関連する個別計画

- 第4期江南市国民健康保険特定健康診査等実施計画（R6～R11）
- 第3期江南市国民健康保険データヘルス計画（R6～R11）

IV ちいき 柱7 誰もが活躍できる健康な生活の確保 — 健康づくり —



現状・課題と今後の方向性

【社会全体の現状・課題】

食生活の乱れ、身体活動・運動の機会の減少、ストレスの増加などに伴い生活習慣病^{*}が増加し、疾病予防や疾病にかかった後の生活管理など健康維持に対する関心が高まっています。また、医療の進歩などにより、平均寿命が延びる中、健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間を意味する健康寿命^{*}の延伸が重要視されるようになってきています。

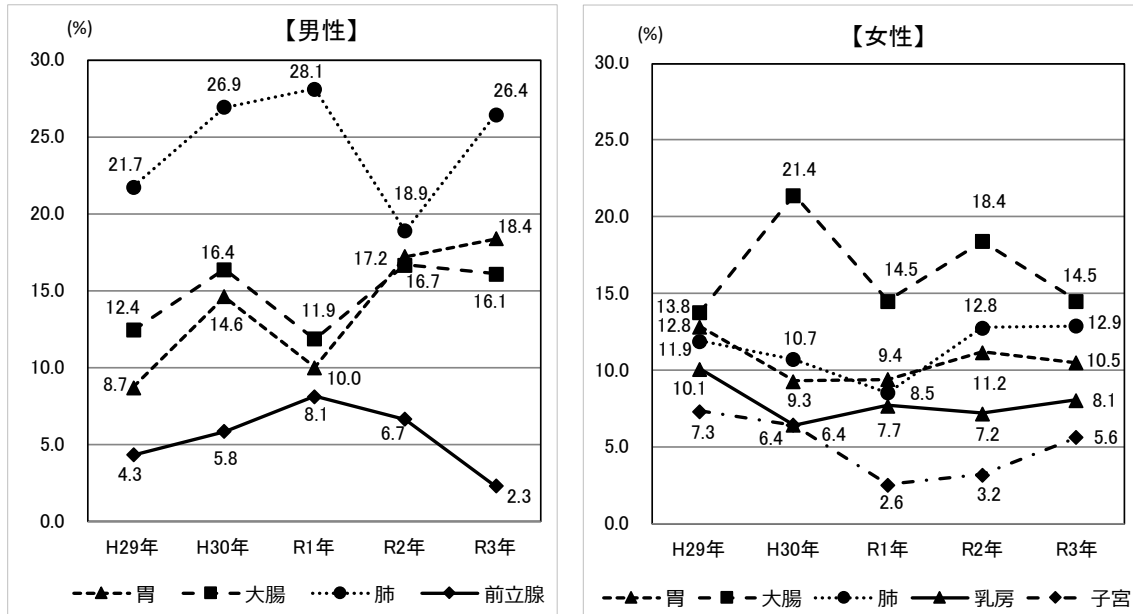
【江南市の現状・課題】

江南市においても、がん、循環器病、糖尿病などの生活習慣病が死因の上位を占めています。生活習慣の見直しや疾病の早期発見を目的として、健康診査や各種がん検診を実施していますが、依然受診率が低いことが課題となっています。

【今後の方向性】

今後は、すべての市民が健やかで心豊かな生活ができるよう、「第3次健康日本21こうなん計画」に基づき、健康診査や各種がん検診の受診勧奨などを行い、受診率を高めていく必要があります。また、従来の取り組みに加え、職域との連携による健康づくりや、自然に健康になれるような環境の整備を進め、健康寿命を延伸していくことが求められています。

■ 江南市のがん部位別死亡割合



がん部位別死亡割合 = がん部位別死亡者数 ÷ 年間のがん死亡者数 × 100 (男女別)

資料: 愛知県衛生年報

目標年度 (R9年度) のすがた

日ごろから正しい食生活や運動などを心がけるとともに、生涯を通じて市民が自発的に健康づくりを行っている。健康診査やがん検診を定期的に通診し、疾病の予防・早期発見に取り組むという意識が定着し、各地域で健康づくりの取り組みなどが行われている。

その結果、寝たきりや生活習慣病になる人が少なくなり、市民は長く健康を保持し安心して暮らしている。

行政の使命

地域の健康意識を向上させるための啓発やボランティア^{*}の育成、活動支援を行う。
 また、健康づくりが身近な場所で行えるように地域・学校・職場が一体となった健康づくりのための環境を整える。
 感染症^{*}を予防するために、予防接種の接種率の向上を図る。
 妊産婦・乳幼児の健康保持のために、妊産婦・乳幼児健診などの充実を図る。また、関係機関と連携して子育て不安の解消、虐待予防などを行う。

成果目標

全体目標：自ら健康づくりに取り組み、健康に暮らしている

| 指標名 | 単位 | 基準値 | 計画値 | | 説明 | |
|--------------------|----|---------------|-----|------|------|---------------|
| | | | R5 | R9 | | |
| 健康づくりに取り組んでいる市民の割合 | % | 69.1 (H29) | 目標値 | 80.0 | 81.0 | 市民満足度調査により測定。 |
| | | | 実績値 | 37.4 | — | |

個別目標①：自らが疾病予防に取り組んでいる

| 指標名 | 単位 | 基準値 | 計画値 | | 説明 | |
|----------------------------------|----|---------------|-----|--------------|------|--|
| | | | R5 | R9 | | |
| 肺がん検診精密検査受診率 | % | 73.1 (H28) | 目標値 | 79.0 | 83.2 | 肺がんの早期発見につながる受診行動を測定するもの。 精密検査受診者/精密検査対象者 |
| | | | 実績値 | 79.8 (R4) | — | |
| 大腸がん検診精密検査受診率 | % | 75.1 (H28) | 目標値 | 78.0 | 80.0 | 大腸がんの早期発見につながる受診行動を測定するもの。 精密検査受診者/精密検査対象者 |
| | | | 実績値 | 78.0 (R4) | — | |
| 節目年齢歯科健康診査の若年層の受診率 | % | 9.7 (R4) | 目標値 | — | 12.7 | 節目年齢歯科健康診査の受診行動を測定するもの。 R5年度までは20歳のみ、R6年度から対象拡大し20、25、30、35歳の受診率。 |
| | | | 実績値 | — | — | |
| こうなん健康マイレージ優待カード交換者数 | 人 | 269 (H28) | 目標値 | 690 | 720 | 市民の自発的な健康づくり行動を測定するもの。 |
| | | | 実績値 | 249 (R4) | — | |
| 健康マイレージアプリ「あいち健康プラス」による優待カード交換者数 | 人 | 51 (R5) | 目標値 | — | 200 | こうなん健康マイレージ参加者のうち、アプリ利用者を測定するもの。 |
| | | | 実績値 | — | — | |

●行政の取り組み

| 基本施策 | 施策内容 | 主な事務事業 |
|----------|--|--|
| 健康の増進・保持 | 市民が自発的に健康づくりに取り組み、健康を保持することができるよう、生活習慣病予防、食生活改善、口腔衛生などを推進する。 | <ul style="list-style-type: none"> 健康管理事業 健康推進事業 |

個別目標②：必要な予防接種を受け、感染症にかかることなく健康を維持している

| 指標名 | 単位 | 基準値 | 計画値 | | 説明 | |
|----------------------|----|---------------|-----|--------------|------|-----------------------------------|
| | | | R5 | R9 | | |
| 予防接種（高齢者のインフルエンザ）接種率 | % | 57.2 (H28) | 目標値 | 60.0 | 67.0 | 高齢者のインフルエンザの発生及びまん延の予防状況を測定するもの。 |
| | | | 実績値 | 70.2 (R4) | — | |
| 予防接種（高齢者用肺炎球菌）接種率 | % | 51.7 (H28) | 目標値 | 53.6 | 55.0 | 高齢者の肺炎球菌の発生及びまん延の予防状況を測定するもの。 |
| | | | 実績値 | 24.2 (R4) | — | |
| 予防接種（帯状疱疹）接種率 | % | 2.0 (R5) | 目標値 | — | 3.0 | 50歳以上の方の帯状疱疹の発症及び重症化の予防状況を測定するもの。 |
| | | | 実績値 | — | — | |

●行政の取り組み

| 基本施策 | 施策内容 | 主な事務事業 |
|--------|----------------------------|---------|
| 感染症※予防 | 市民の感染症のまん延を防ぐために予防接種を実施する。 | ・予防接種事業 |

個別目標③：母子が健康保持に積極的に取り組み、母子ともに健康に暮らしている

| 指標名 | 単位 | 基準値 | 計画値 | | 説明 |
|--------------|----|---------------|-----|--------------|--|
| | | | R5 | R9 | |
| 乳児家庭全戸訪問の実施率 | % | 95.2 (H28) | 目標値 | ▲ | 子育て支援の実施状況を生後4か月未満の乳児のいる家庭の訪問実施率で測定するもの。 |
| | | | 実績値 | 95.8 (R4) | |
| 産後ケア事業の利用者数 | 人 | 2 (R4) | 目標値 | — | 産後の心身の負担軽減を図る機会が確保されているかを測定するもの。 |
| | | | 実績値 | — | |

●行政の取り組み

| 基本施策 | 施策内容 | 主な事務事業 |
|------|--|--|
| 母子保健 | <p>子育ての情報提供、乳児及び保護者の心身の状況及び養育環境の把握、養育についての助言、援助を行うため乳児家庭全戸訪問事業を実施する。疾病の早期発見、保護者の育児不安の解消などのため乳幼児健診を実施する。</p> <p>妊娠期から出産・子育てまで、身近な場所で相談に応じ、多様なニーズに応じた支援につなぐ伴走型相談支援の実施やオンライン面談にも対応するなど、相談体制の強化を図る。</p> <p>退院直後の母子に心身のケアや育児サポートを行う産後ケア事業を実施する。</p> <p>こども家庭センター※（母子保健）を運営する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・母子健康管理事業 ・母子保健事業 ・こども家庭センター（母子保健）運営事業 |

個別目標④：市民が安心して医療を受けている

| 指標名 | 単位 | 基準値 | 計画値 | | 説明 |
|----------------------------------|----|---------------|-----|------|---------------|
| | | | R5 | R9 | |
| かかりつけ医をもっている市民の割合 | % | 70.4 (H29) | 目標値 | ▲ | 市民満足度調査により測定。 |
| | | | 実績値 | 69.9 | |
| 病院などの医療体制が整い、安心して暮らしていると感じる市民の割合 | % | 69.1 (H29) | 目標値 | 71.0 | 市民満足度調査により測定。 |
| | | | 実績値 | 56.4 | |

●行政の取り組み

| 基本施策 | 施策内容 | 主な事務事業 |
|---------|--|---|
| 医療体制の整備 | 市民が安心して健康診査や健康相談、医療などを受けられるよう、保健センターや休日急病診療所を運営するとともに、関係医療機関と連携し、地域の医療体制を整備する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・休日急病診療所維持運営事業 ・地域医療推進支援事業 |

市民協働のモデル

市民協働事業

●健康推進事業

- ・地域、学校、企業などでの健康に関する教室の開催、知識の普及活動などを行い、健康づくりへの取り組みを推進しています。

●予防接種事業

- ・医療機関と連携し、広域的に予防接種が受けやすい環境づくりへの取り組みを推進しています。

●地域医療推進支援事業

- ・適切な医療が受けられるよう、関係医療機関と連携し地域の医療体制を整備しています。

市民協働の推進に向けて

●市民主体の健康づくりの推進

- ・市民主体の健康づくりを推進していきます。

●地域における母子保健の推進

- ・医療機関など関係機関との連携を取り、妊娠期から切れ目のない支援を行っていきます。

関連する個別計画

- 第3次健康日本21 こつなん計画（R6～R17）



保健センター・こども家庭センター（待合ホール）



江南市休日急病診療所

IV ちいき 柱8 市民の安心を守る消防・救急体制の充実 — 消防・救急 —



現状・課題と今後の方向性

【社会全体の現状・課題】

火災件数は、全国的に概ね減少傾向にあります。高齡化が進むにつれ、救急出動が増加しています。また、火災や風水害に加えて、地震などによる大規模災害の発生も予測されており、市民の生活を脅かす不安要素は増加しています。

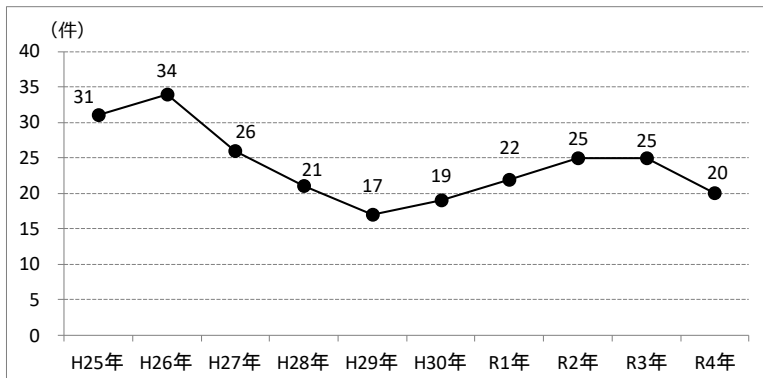
【江南市の現状・課題】

江南市においては、火災件数は、ここ数年一定範囲にとどまっていますが、救急出動件数は10年間で約2割（1,000件）増加しており、中でも高齢者の救急需要が急増しています。火災や地震などの発生も予想される中、発災直後の現場では、市民の知識や対応力が極めて重要となることから、救命率向上のための応急手当講習の普及啓発や地域の防災力強化がいつそう必要となっています。また、近年では、災害の多様化・大規模化が見られ、消防体制の再構築、配置拠点の適正化が課題となっています。

【今後の方向性】

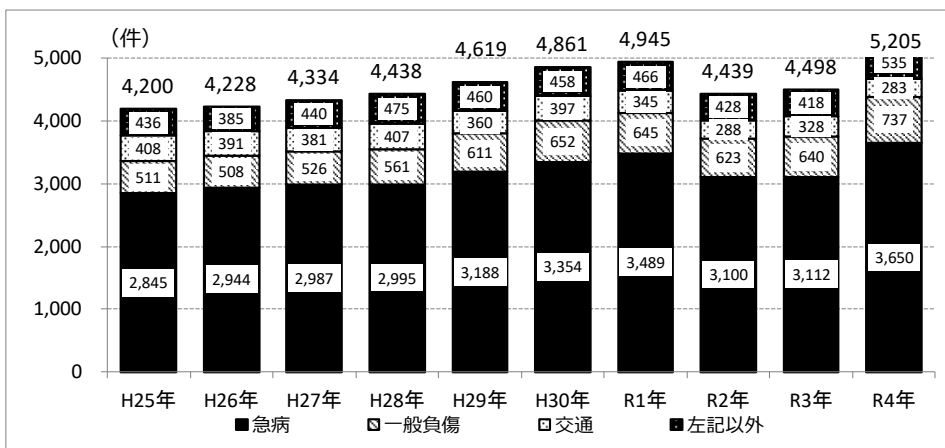
今後は、火災や災害の被害を最小限にとどめ、市民の生命・財産を守るために、防災訓練や各種講習などを通じて、市民の防火・防災意識の向上や消火器具及び住宅用火災警報器の普及を促進するとともに、人員・車両の増強や北部拠点の形成を含め、消防体制のあり方を検討し、充実強化を図ることにより、市民の安全を確実に守る消防・救急体制の確保が求められています。

■火災件数



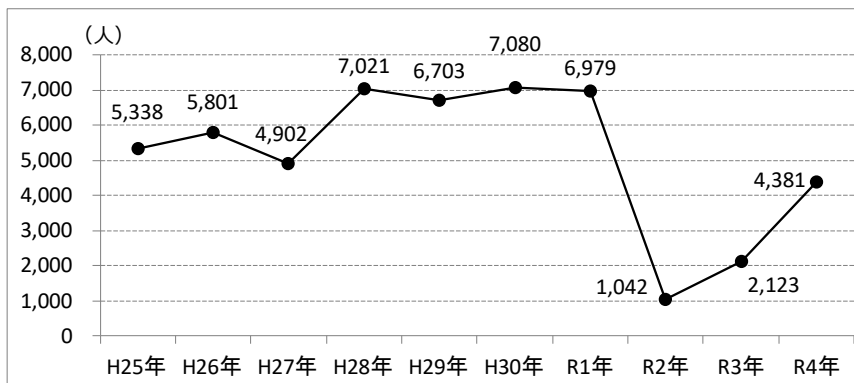
資料：消防予防課

■救急出動件数



資料：消防署

■ 応急手当受講者数



資料：消防署

※R2～R4：新型コロナウイルス感染症の影響により講座数減少

目標年度（R9年度）のすがた

市民は、応急手当講習・防災訓練に積極的に参加し、火災や地震などの災害発生時の備えが十分に行われている。行政は、広域的協力体制による充実した消防・救急体制が整い、迅速かつ的確な対応ができています。

その結果、救命率が向上し、また、火災や地震などの災害に対する不安が軽減され、市民が安心して暮らしている。

行政の使命

救急・救助や火災などの災害に対し、被害を最小限にとどめるため、迅速かつ的確に対応し、消防・救急体制の充実強化や市民の防火意識向上を図る啓発を行うことにより、市民の大切な生命・財産を守る。

成果目標

全体目標：消防・救急体制が整い、市民が安心・安全に暮らしている

| 指標名 | 単位 | 基準値 | 計画値 | | 説明 | |
|---|----|------------|-----|------|------|---------------|
| | | | R5 | R9 | | |
| 火事や事故などの災害発生時には、迅速に消火・救急・救助活動が行われ、安心して暮らしていると感じる市民の割合 | % | 43.8 (H28) | 目標値 | 48.0 | 53.0 | 市民満足度調査により測定。 |
| | | | 実績値 | 46.8 | — | |

個別目標①：消防・救急体制が充実している

| 指標名 | 単位 | 基準値 | 計画値 | | 説明 | |
|-------------------------|----|------------|-----|-----------|-------|--|
| | | | R5 | R9 | | |
| 消防団員（水防団員）の充足率 | % | 99.5 (H28) | 目標値 | 100.0 | 100.0 | 消防団員（水防団員）数/定数 |
| | | | 実績値 | 99.0 | — | |
| 消防水利の充足率 | % | 84.1 (H28) | 目標値 | 85.0 | 85.4 | 消火活動に使用する防火水槽や消火栓の整備状況を測定するもの。 消防水利数/消防水利の基準数 |
| | | | 実績値 | 84.5 (R4) | — | |
| 救急救命士 [※] 運用者数 | 人 | 17 (H28) | 目標値 | 21 | 24 | 高度な知識、技術をもった救急救命士の運用状況を測定するもの。 |
| | | | 実績値 | 21 | — | |

●行政の取り組み

| 基本施策 | 施策内容 | 主な事務事業 |
|---------|--|---|
| 消防体制の充実 | 消防団員の加入を促進し、地域の防災力を維持するとともに訓練を通じて体制強化を図る。救急体制の充実を図るため、救急救命士 [※] の養成を実施する。 | <ul style="list-style-type: none"> 消防団運営事業 消防団員訓練指導事業 救急救命士養成事業 防火水槽震災対応化事業 消防車両更新事業 |

個別目標②：防火対象物や危険物施設などの安全対策指導が徹底されている

| 指標名 | 単位 | 基準値 | 計画値 | | 説明 | |
|-------------------------|----|---------------|-----|---------------|-------|--|
| | | | R5 | R9 | | |
| 防火管理者 [※] の選任率 | % | 89.8 (H28) | 目標値 | 91.6 | 94.0 | 管理権原者（所有者、経営者、借受人など）の防火意識度を測定するもの。 防火管理者選任済数/防火管理者選任義務対象物数 |
| | | | 実績値 | 94.3 (R4) | — | |
| 優良危険物施設率 | % | 99.7 (H28) | 目標値 | 100.0 | 100.0 | 危険物施設 [※] が安全に維持、管理されているかを測定するもの。 優良施設数及び改善実施施設数/立入検査施設数 |
| | | | 実績値 | 100.0 (R4) | — | |
| 住宅用火災警報器の設置率 | % | 66.0 (H28) | 目標値 | 76.5 | 82.5 | 市民の防火意識度を測定するもの。 |
| | | | 実績値 | 71.0 | — | |

●行政の取り組み

| 基本施策 | 施策内容 | 主な事務事業 |
|---------------------|--|--|
| 市民・事業者の防火意識・防火体制の向上 | 事業者に防火管理業務を適切に行わせるため、防火管理講習会の受講を促して防火管理者を養成する。防火対象物や危険物施設を適切に維持管理させるため、立入検査を実施し指導する。 | <ul style="list-style-type: none"> 防火管理事業 防火対象物立入検査事業 危険物製造所等立入検査事業 |

個別目標③：救急・救助や消火活動において、迅速・的確に対応している

| 指標名 | 単位 | 基準値 | 計画値 | | 説明 | |
|-----------------|----|----------------|-----|---------------|-------|---|
| | | | R5 | R9 | | |
| 応急手当講習の受講者数 | 人 | 7,021 (H28) | 目標値 | 7,100 | 7,100 | 応急手当受講者の普及状況を測定するもの。 |
| | | | 実績値 | 4,311 (R4) | — | |
| 処置範囲拡大救急救命士運用者数 | 人 | 16 (H28) | 目標値 | 21 | 24 | 高度な技術、知識をもった薬剤投与及び心停止前の輸液、ブドウ糖投与のできる救急救命士の運用数を測定するもの。 |
| | | | 実績値 | 19 (R4) | — | |
| 心拍再開率 | % | 46.7 (H28) | 目標値 | 47.0 | 48.0 | 救命処置を行った心肺停止者の心拍再開率を測定するもの。 心拍再開者数/心肺停止者数 |
| | | | 実績値 | 26.1 (R4) | — | |

●行政の取り組み

| 基本施策 | 施策内容 | 主な事務事業 |
|--------------|--|---|
| 火災・救急救助体制の強化 | 災害に迅速、的確に対応し、市民の生命・財産を守るため、知識・技術の向上、資機材の整備をする。 | <ul style="list-style-type: none"> 救急事業 指揮・指令事業 救助事業 警防事業 |

市民協働のモデル

| |
|--|
| <p>市民協働事業</p> |
| <p>●火災予防普及啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民への防火意識の向上を図るため、各種組織・団体と連携して、火災予防の普及啓発に取り組み、火災の少ない安心・安全なまちづくりを推進しています。 |